

# 奈良県感染症情報

平成30年 第18週(4月30日～5月6日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	3.41	(6.18)	↘	↘	↘	→
2	A群溶連菌咽頭炎	0.79	(2.09)	↓	↘	↓	↓
3	伝染性紅斑	0.32	(0.09)	↑	→	↑	→
4	咽頭結膜熱	0.21	(0.38)	↘	→	↓	→
4	突発性発しん	0.21	(0.68)	↓	↘	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

大型連休を挟み、報告数はほとんどの疾患で減少しています。

感染性胃腸炎は、年齢を問わず報告がみられます。4月の後半に奈良県保健研究センターで検査を行った集団感染性胃腸炎事例では、ノロウイルスを検出しています。食品は十分に加熱して食べ、手洗いも忘れずに行い、予防に努めて下さい。また嘔吐物等の処理を誤ると、処理するヒト自身が感染する危険性もあり、また周りにも感染を拡げてしまうことがあります。正しい方法で処理を行いましょ。

夏に流行のピークを迎える咽頭結膜熱(プール熱)や手足口病の報告が少数ですがみられます。手洗い、うがいを習慣づけて下さい。

インフルエンザの報告は、少なくなっていますが続いています。大人から子どもへ感染を拡げないために、咳やくしゃみが出る場合にはマスクを着用するよう心がけましょ。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(矢追医院)

インフルエンザ A 型が、天理の中学校の子に先々週にありました。その後はありません。GW にかかり、目立った感染症はありません。感染性胃腸炎が少しある位です。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は連休前後は増加。

インフルエンザ A の感染が再び見られた。

17週(臨時)で報告の子供 4 才、3 才とその母親、翌日受診のその従兄家族の子供 6 才、3 才、5ヶ月の 3 名とその母親がインフルエンザ A 陽性、計7名の発症を認めた。連休前に大阪勤務の父親が感冒症状であったが詳細不明。

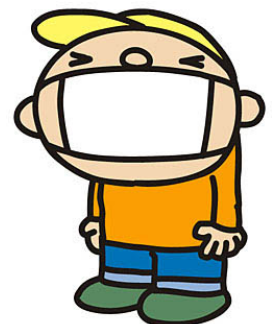
その他は感染性胃腸炎が流行。水痘が見られるようになった。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ヒトメタニューモウイルス感染症の流行が続いている。肺炎合併、低酸素血症例も多い。溶連菌感染症の流行も続いているが、抗生剤の反応はよく腎炎合併もみられていない。

胃腸炎は大きな流行にはなっていない。夏カゼは徐々に増している。

麻疹患者の受診はない。





❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

